

知ってほしい あなたの すぐそばにある 離島

長崎県の
特定有人国境
離島地域を
構成する離島

- [対馬市] 対馬、海栗島、泊島、赤島、沖ノ島、島山島
- [壱岐市] 壱岐島、若宮島、原島、長島、大島
- [佐世保市] 宇久島、寺島
- [小値賀町] 六島、野崎島、納島、小値賀島、黒島、大島、斑島
- [新上五島町] 中通島、頭ヶ島、桐ノ小島、若松島、日島、有福島、漁生浦島
- [五島市] 奈留島、前島、久賀島、蕨小島、椀島、福江島、赤島、黄島、黒島、島山島、嵯峨ノ島
- [西海市] 江島、平島

五島列島地域 所在市町村:佐世保市、小値賀町、新上五島町、五島市、西海市

五島列島は、九州の最西端(面積が最も大きい福江島は長崎港から西に100km)に位置し、西南から北東に90km(男女群島まで含めると160km)にわたって、大小あわせて150もの島々が斜走しています。自然海浜や海蝕崖、火山景観など複雑で変化に富んだ地形となっており、特に五島市の大瀬崎断崖や新上五島町の若松瀬戸の景観は美しく、その一部が西海国立公園に指定されるなど豊かな自然景観を有しています。古くは遣唐使船の日本最後の寄港地になるなど大陸との交流拠点として栄え、江戸時代には弾圧を逃れてキリスト教徒が移住した地域でもあり、そうしたことから、教会や寺社をはじめとした歴史・文化遺産が数多く、特に教会は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録を目指す取り組みが進められており、五島観光のひとつとして注目されています。また、五島神楽などの郷土芸能、ヘトマトや弁財天などの伝統行事等が継承され、独特の地域文化を形成しています。



大瀬崎断崖



旧野首教会



五島神楽

対馬地域 所在市町村:対馬市

九州と韓国に位置し、南北82km、東西18kmの細長い島で、韓国までわずかに49.5kmという国境の島です。島の89%が山林で、急な深い山々が連なって海岸まで続いており、断崖絶壁など壮大な景観が見られます。中でも、対馬中央部の浅茅湾は風光明媚なリアス式海岸を形成しています。この豊かな自然には、国の天然記念物である「ツシマヤマネコ」や「ヒトツバタゴ」など、珍しい動植物が生息しています。また、渡り鳥の中継地でもあることから、世界でも有数の野鳥観測地とされています。古代より対馬は、大陸から青銅器、仏教などの先進文化・文物をわが国に伝える窓口としての役割を果たし、朝鮮半島との交流が盛んに行われてきました。現在では、「朝鮮通信使」を再現したパレードも行われる「対馬厳原港まつり」やスポーツイベント「国境マラソンIN対馬」など韓国との交流を深めています。対馬市厳原・比田勝と韓国釜山の間には、高速船が就航しており、平成29年には35万人超の韓国人が対馬を訪れています。



対馬北端から望む韓国



ツシマヤマネコ



対馬厳原港まつり

壱岐島地域 所在市町村:壱岐市

福岡県と対馬市のほぼ中間に位置し、南北17km、東西15kmの壱岐島を中心に、周囲に小離島が点在しています。地形は丘陵性で、最高峰「岳ノ辻」が213mとなだらかな広がりを見せる平坦な島です。海岸と丘陵部分の自然景観に恵まれ、対馬地域とともに「壱岐対馬国定公園」に指定されています。また、筒城浜などの美しい海水浴場が島内に点在しており、夏場は海水浴やマリンスポーツをもとめて観光客で賑わいます。壱岐は、中国の歴史書「魏志倭人伝」に「一支國(いきこく)」として書かれているように、古くから大陸文化の中継地として重要な役割を持っており、日本遺産に認定された「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」を構成する国指定特別史跡「原の辻遺跡」などの貴重な歴史遺産が数多く残されています。また、豊かな海の幸のほか、「壱岐牛」、「壱岐焼酎」など食の魅力にもあふれています。壱岐は麦焼酎発祥の地と云われ、「壱岐焼酎」は平成7年、WTO協定に基づく「地理的表示」の産地指定を受けています。



筒城浜



国指定特別史跡「原の辻遺跡」



壱岐市立一支国博物館